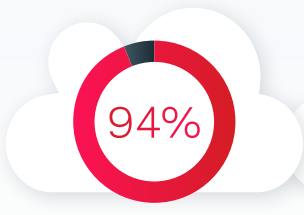
VERITAS

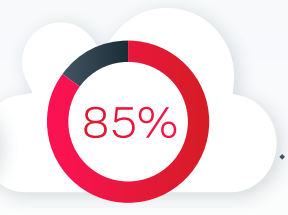
クラウドが抱える最大の課題への対処

複雑化するクラウド戦略

クラウドへの資産の移行が進むにつれて、ストレージを適切に管理できなければ多額のコストが生じるという認識が多くの企業の間で広がっています。クラウドは多くのメリットをもたらす反面、重要な領域でセキュリティ、不確実性、コスト、複雑性に関する新たな課題も生み出しています。



現在マルチクラウド戦略を採用している企業の割合[1]



2025 年までにクラウドファーストを実現する予定の企業の割合[2]

課題 1

サイバーセキュリティへの対処

ランサムウェアなどのマルウェアが大きな問題を引き起こし、その状況は悪化の一途をたどっている

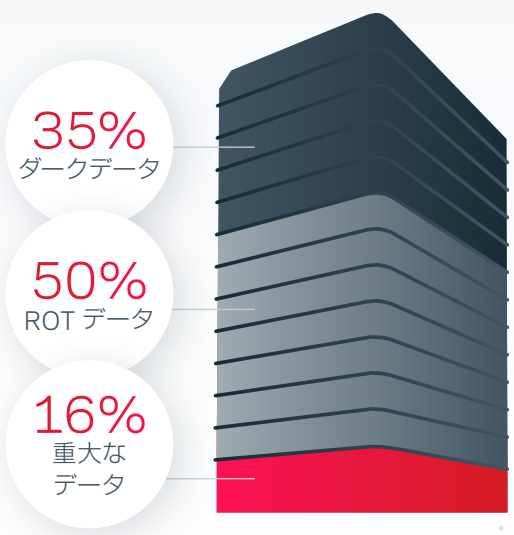
- 2022 年の上半期だけでも、28 億件のマルウェア攻撃が発生。過去 6 カ月と比較して 11% 増となった[3]。脆弱性やコストも急増している。
- 攻撃により生じるコストは平均 185 万ドル (2021 年) となった。[4]
- ベリタスの調査では、ビジネスリーダーや IT リーダーの 77% が、データ管理やサイバーセキュリティツールにかかる費用に驚いたと回答。[1]
- サイバーセキュリティへの対処を誤ると、高額なコストが発生するだけではなく、売上の減少、罰金、裁判費用、企業ブランドや評判の失墜につながる可能性がある。

課題 2

不確実性、ダークデータ、可視性の欠如がもたらすリスク

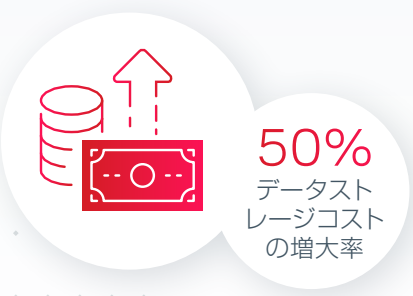
データの保護と回復力を実現するには、エッジからコア、クラウドまでの可視性が不可欠である

- 多くの IT リーダーは自社のデータフットプリント全体を追跡することができず、全データの保護やマルウェアなどの潜在的な脅威の検出、コストと複雑性の最適化がいっそう困難になっている。
- ベリタスの調査への回答から、データを明確に把握できていないことが明らかになった。企業が保有するデータのうち、平均して 35% がダークデータ、50% が重複、古い、または些細な (ROT) なデータであり、ビジネスクリティカルなデータは 16% にとどまる。[5]



課題 3

多額のコストが発生する可能性がある



現状でもすでに課題の多いデータストレージの要件が増大すれば、コストが跳ね上がることになる

- 従来のデータストレージソリューションでは使用状況を最適化できず、複数のロケーションで重複したデータや不要なデータが蓄積する事態に。
- 近年、データストレージのコストは着実に増加している。McKinsey & Co. 社によると、過去 5 年超で 50% 増大。[6]
- データを重複排除や圧縮して、安価なストレージ階層に保存することにより、企業はクラウドネーティブのスナップショットと比較してストレージコストを最大 99% 削減できる。[7]

課題 4

複雑であることが当たり前の状態に

さまざまなツール、テクノロジ、リソースが混在することで、サイロ化した IT の運用管理がさらに複雑に

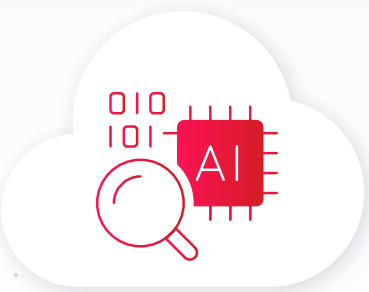
- クラウドネーティブツールはすぐに利用を開始できるものの、マルチクラウドのフレームワーク全体でデータを管理することができず、さまざまなツールや運用の複雑さの増加につながっている。
- 複雑さを軽減するには、複合的要素を統合するデータ管理に効率的に対処し、データ保護やセキュリティを強化し、拡張性と弾力性を備えたクラウドネーティブアーキテクチャをサポートするソリューションを導入する必要がある。

45%
複数のクラウドにまたがって利用されているアプリケーションの割合

83%
クラウドにまたがるアプリケーションを適切に管理するリソースや専門知識が欠如している企業の割合[8]

課題 5

今なおクラウドには手動での監視業務が多数必要である



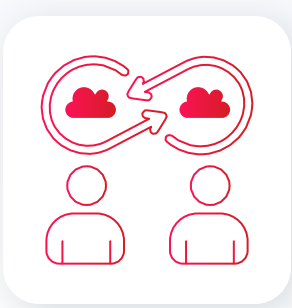
コスト増につながるよくある人的ミスをなくすには、自動化が不可欠。以下に関する主なユースケースで、その価値が顕著に表れる

- データを自動的かつインテリジェントに保護しつつ、コンプライアンスとセキュリティを確保しコスト最適化を実現する自律型データ管理テクノロジ。
- 拡張性と弾力性に優れたクラウドネーティブアーキテクチャに対応する、人工知能 (AI)、機械学習 (ML)、その他の自律型およびオートスケール機能。
- クラウドネーティブフレームワークの機能を最大化するアプライアンス、コンテナ、マイクロサービス。

共同責任モデルを取り巻く混乱

クラウドサービスプロバイダと顧客との間には、共同責任モデルをめぐってさまざまな混乱やあいまいさが生じています。理論の上では多くの人が、クラウドサービスプロバイダがクラウドそのものの回復力に責任を持ち、顧客がクラウド内の回復力に責任を持つと理解しています。しかし、実際の運用となるとあいまいさが残りがちで、データやアプリケーションが保護されなかったり、脆弱なままだったりします。

最新のマルチクラウド環境に対応する高度なプラットフォームを提供するベリタスなら、管理の強化、リスクの低減、コスト管理の簡易化を達成しつつ、共同責任モデルでのお客様の責任範囲に対応します。



ベリタスで状況を一変する

ベリタスはクラウドにおけるデータ管理、回復力、サイバーセキュリティ、持続可能性を革新する、次世代のテクノロジを提供します。

詳しくは **www.veritas.com/solution/cloud-data-security** を参照してください。

VERITAS

〒107-0052 東京都港区
赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階

www.veritas.com/ja/jp
各国オフィスとお問い合わせ先については、弊社の Web サイトを参照してください。
veritas.com/ja/jp/company/contact

1. ベリタス/ Vanson Bourne 社、『The Vulnerability Lag (脆弱性との時間差)』、https://www.veritas.com/content/dam/Veritas/docs/reports/GA_ENT_AR_Veritas-Vulnerability-Gap-Report-Global_V1414.pdf
2. Gartner 社、「Gartner Identifies Four Trends Driving Near-Tern Artificial Intelligence Innovation (近い将来の AI イノベーションを促進する 4 つのトレンド)」(2021 年 9 月 7 日)、https://www.gartner.com/en/newsroom/press-releases/2021-09-07-gartner-identifies-four-trends-driving-near-term-artificial-intelligence-innovation
3. SonicWall 社、「2022 Cyber Threat Report (2022 年版サイバー脅威レポート)」、https://www.sonicwall.com/2022-cyber-threat-report/
4. Cloudwards、「Ransomware Statistics, Trends and Facts for 2022 and Beyond (2022 年移行のランサムウェアに関する統計、トレンド、真相)」、2022 年 3 月 22 日、https://www.cloudwards.net/ransomware-statistics/
5. ベリタス/Vanson Bourne 社、『The Vulnerability Lag (脆弱性との時間差)』、https://www.veritas.com/content/dam/Veritas/docs/reports/GA_ENT_AR_Veritas-Vulnerability-Gap-Report-Global_V1414.pdf
6. McKinsey 社、「Reducing data costs without jeopardizing growth (データのコストを削減しながら成長をとげる)」、2020 年 7 月 31 日、https://www.mckinsey.com/business-functions/mckinsey-digital/our-insights/reducing-data-costs-without-jeopardizing-growth
7. ベリタス、『Cloud-Optimized Backup from Snapshot and Autoscaling in NetBackup 10 (NetBackup 10 の Snapshot と Autoscaling でクラウド向けにバックアップを最適化)』、https://www.veritas.com/content/dam/www/en_us/documents/technical-documents/TB_netbackup_cloud_optimized_backup_snapshot_V1510.pdf
8. Flexera 社、「2022 State of the Cloud Report (2022 年版クラウドに関する調査レポート)」、https://info.flexera.com/CM-REPORT-State-of-the-Cloud?lead_source=Website%20Visitor&id=Flexera.com-PR

V1609 08/22